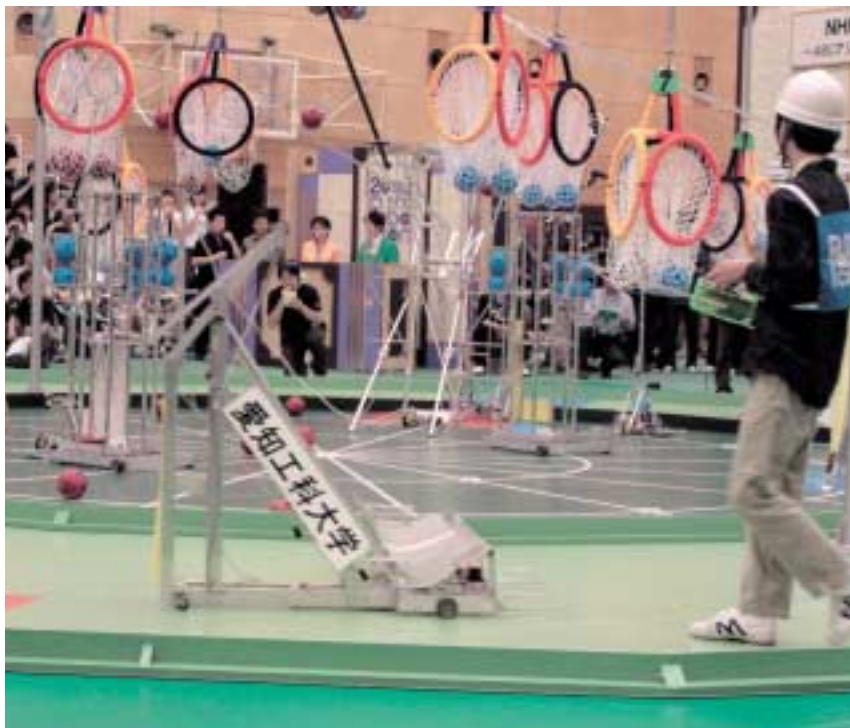


NHK大学ロボコン2003

～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会～

愛知工科大学が日本代表に決定！



「ロボマガ」記者・城井田 勝仁 きいだ かつひと

2003年6月8日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区)で、「NHK大学ロボコン2003」が開催された。昨年から始まった「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト」の代表選考会を兼ねるもので、優勝校は2003年8月24日にバンコクで

開催されるその大会への出場権を得る。今年の競技は、吊り下げられたバスケットに、自チームの色のボールをより多く入れる、というものである。すべての試合で高得点をたたき出した愛知工科大学は、いくつもの接戦を制して、ついには優勝を果たした。

「NHK大学ロボコン」から 「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト」へ

NHK大学ロボコンは、1991年に始まった大学生のためのロボットコンテストである。当初は国内の大学に参加校が限られていたが、1993年の第3回大会から、海外の大学がゲストとして参加するようになった。

そのNHK大学ロボコンが、大きく様変わりしたのは昨年からだ。NHKがABU(アジア・太平洋放送連合)加盟放送機関に呼びかけ、国際大会としての「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト」を創設したのである。ABUに加盟するアジア・太

平洋地域の国と地域から代表チームが選抜され、競技を通じて技術力と独創力を競うようになったのだ。

これにともなって、これまで国内の大学生チームを主な対象として行われていたNHK大学ロボコンは、そのABUアジア・太平洋ロボットコンテストの国内代表を選出する新しい大会となった。2003年6月8日に国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区)で行われた大会は、その2回目となるNHK大学ロボコンである。

昨年の第1回ABUアジア・太平洋ロボットコンテストは、日本で行われた。開催国であったことから、日本代表は2チームまで認められた。しかし、今年の第2回大会はタイのバンコクで開催される。来たる2003年8月24日、その地に立てる日本代表は、NHK大学ロボコンで優勝した大学に限られる。

見事にその栄冠を得たのは、愛知工科大学だった。その活躍ぶりはすでにテレビでも放映されたので知っている人も多いかと思われるが、ロボコンマガジンとしての視点でそれを今一度振り返ってみることにしよう。